

觀音寺市埋蔵文化財調査事業報告書

青塚遺跡試掘調査報告書
藤目城跡確認調査報告書

2007. 3

觀音寺市教育委員会

例　　言

1. 本書は、観音寺市教育委員会が平成18年度埋蔵文化財調査事業として実施した、①青塚遺跡試掘調査、②藤目城跡確認調査の報告書である。
2. 上記①の青塚遺跡試掘調査は、観音寺市の地域用水環境整備事業に係る試掘調査で香川県観音寺市原町字青塚3番を対象とした。
②の藤目城跡確認調査は、観音寺市粟井町の常次自治会が実施する山道新設事業に係る確認調査で香川県観音寺市粟井町字射場1666番2ほかを対象地区とした。
3. 試掘・確認調査及び本書の執筆・編集は、観音寺市教育委員会事務局　生涯学習課　文化振興係　主査　久保田昇三が担当した。
4. 挿図の一部に観音寺市全図其の1(1/10,000)、観音寺都市計画図(1/2,500)、香川県三豊郡大野原町全図(1/10,000)を使用した。図面の方位は磁針方位で示し、方位の表示のないものは図面の上方向が北を示す。
5. 出土遺物は観音寺市郷土資料館で保管している。
図面・写真等は観音寺市教育委員会事務局で保管している。
6. 本事業の実施にあたっては、観音寺市土地改良課、観音寺市生活環境課、観音寺市粟井町常次自治会、発掘調査に携わった牧野巧氏、松岡豊史氏、荻田公一郎氏にご協力を頂いた。
記して、謝意を表します。

目　　次

	頁
I. 青塚遺跡試掘調査	
(1) 調査に至る経緯と経過	2
(2) 立地と環境	2
(3) 調査概要	2
◆青塚遺跡調査地区位置図(1:10,000)	4
◆青塚遺跡試掘調査位置図・トレンチ配置図(1:2,500)	5
II. 藤目城跡確認調査	
(1) 調査に至る経緯と経過	6
(2) 立地と環境	6
(3) 調査概要	6
◆藤目城跡確認調査位置図(1:10,000)	7
III. 記録写真	
(1) 青塚遺跡試掘調査記録写真	8
(2) 藤目城跡確認調査記録写真	9
IV. 報告書抄録	10

I. 青塚遺跡試掘調査

(1) 調査に至る経緯と経過

平成18年5月8日付で、「平成18年度土木工事予定地区内に所在する埋蔵文化財等の取り扱いについて」香川県農政水産部長より通知があった。それは、香川県教育委員会事務局文化行政課長より埋蔵文化財の保護措置を講ずる必要がある土木工事について、観音寺市が事業主体の団体営地域用水環境整備事業（一ノ谷地区）に関して一ノ谷池遺跡が所在することにより観音寺市教育委員会が調査等を行い埋蔵文化財の保護措置を行う必要があるという内容であった。

このことを受けて観音寺市教委では試掘調査に関する準備を開始し、平成18年度の試掘調査を、平成18年6月5日から平成18年7月31日にかけて実施した。

調査結果は平成18年10月2日付文書で県教委に報告し、平成18年9月25日付で観音寺警察署に埋蔵文化財の拾得届を提出し、また同日付で県教委に埋蔵文化財保管証を提出した。平成18年10月10日付で埋蔵物の文化財認定が県教委から観音寺警察署になされた。

なお、平成18年10月6日付で観音寺市から埋蔵文化財の発掘通知（第94条第1項）が提出され、平成18年11月2日付で県教委から「周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について」通知（工事立会）があり、平成18年11月30日に工事立会を行った。

(2) 立地と環境

事業対象地区の近くには、平成16年度に発見された一ノ谷池遺跡のほかに、平成4年5月に調査が行われた青塚遺跡が所在している。遺構は幅約1.6m、深さ約60cmの溝状遺構と土坑1基ではあるが弥生時代後期後半から末頃の弥生土器がコンテナ4箱分出土しており、集落跡の一部とみられる遺跡であり周辺に同時期の遺跡が広がる可能性があるものと考えられている。このことが、今回の調査の必要性があると判断されたひとつの理由である。

また、同遺跡の近くには古墳時代中期の青塚古墳が所在する。帆立貝式前方後円墳といわれる同古墳は阿蘇熔結凝灰岩製の石棺の一部が出土していることでも知られている。埋葬施設は現在未調査で詳細は不明であるが、市内室本町の丸山古墳の例もあるので今後慎重に検討されるべきものと思われる。なお、墳丘からは円筒埴輪片が出土している。

(3) 調査概要

調査は4箇所でトレーンチを設定し調査を行った。下表にその結果を整理した。

調査地点	主な時代	主な遺構	出土遺物等
トレーンチ1 4.6m×2.8m	弥生時代 (後期後半)	トレーンチ中央部に長径51cm、短径42cm、深さ11.5cmの不整円形の土坑一基確認。土坑内には弥生土器片が複数個体分埋められていた。 その他、複数の溝やピットが確認されたが、埋土に遺物が含まれていないものや、含	弥生土器 (壺、甕等が一括出土)

		んでいても板ガラス片やビニール製のもので、時代は不明あるいは新しいものである。	
トレンチ2 3.9m×1.9m		ピット3箇所、溝2箇所を確認。	溝は遺物なし。ピット一箇所から土器片1点。その他須恵器片も1点出土。
トレンチ3 6.5m×1.9m		なし	なし
トレンチ4 6.6m×1.9m		なし	なし

今回の調査は、その工事内容が当該敷地内でトイレ及び東屋の設置のみで、その他については花崗土で盛土を行い芝生広場とする計画であったので、調査地区を限定しトイレ及び東屋が設置される二箇所とした。

トレンチ1・2はトイレと浄化槽、トレンチ3・4は東屋の計画場所に設定し遺構検出を行った。結果、トレンチ3・4については遺構、遺物とも確認されなかった。トレンチ1・2については上記のような遺構遺物が確認された。

平成18年10月5日付けて香川県教育委員会から周知の埋蔵文化財包蔵地について通知があり、今回の調査地である観音寺市原町字青塚3番は「青塚遺跡」として周知の埋蔵文化財包蔵地となつた。

今回確認された弥生時代の土器が周間に関連する同時代の遺構がなく単独の土坑から出土するケースは平成16年度に発見された一ノ谷池遺跡の土坑の場合とよく似ている。しかし、一ノ谷池遺跡の場合は長径31cm、短径21cmと少し小さく、拳大の小石が混在しているので、その点は異なっていると言えよう。今後このような遺構の性格についての検討の必要があると考える。

青塚遺跡調査地区位置図

1:10,000

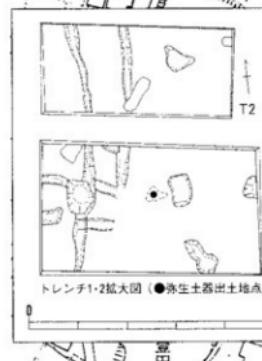


青塚遺跡試掘調査位置図・トレント配置図

1:2,500



一ノ谷池



トレント1-2拡大図 (●発生土出土地点)

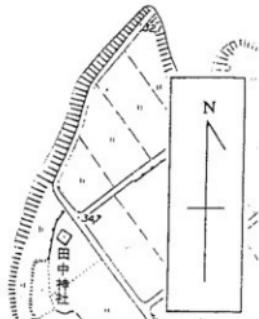
0

5M

5

3.5

畠



II. 藤目城跡確認調査

(1) 調査に至る経緯と経過

平成18年9月4日付で觀音寺市粟井町の常次自治会長から山道新設に係る埋蔵文化財の所在の有無とその取扱いについての照会を受けた。平成18年9月15日付で觀音寺市教委から常次自治会長へ山道の新設箇所は周知の埋蔵文化財包蔵地である藤目城となっており確認調査の必要がある旨の回答を行った。なお、平成18年9月15日付けで常次自治会長より埋蔵文化財発掘の届出があった。

確認調査は平成18年9月25日から平成18年10月19日まで実施した。調査結果は平成18年10月27日付で香川県教育委員会へ報告を行った。なお、埋蔵文化財の拾得届は平成18年10月27日付で、また、同日付で埋蔵文化財保管証を県教委に提出した。

平成18年11月2日付で香川県教育委員会より常次自治会長へ周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について通知があり工事立会の指示があり、平成19年1月20日工事立会を行った。

(2) 立地と環境

藤目城は、觀音寺市粟井町竹成と大野原町丸井にまたがる場所に所在し、標高約137mの頂上部に17m×78mの平坦地が広がり主郭を形成している。主郭の東南西側には土壘状の高まりがある。ここには現在ミニ四国八十八箇所が設けられており、土壘状はこのためなのかもしれない。この主郭の土壘状のものを囲むように曲輪が2段残されている。主郭との段差は2m程で、切岸はしっかりとしている。城主は斎藤下総守で天霧城主香川氏の支配下にあり、藤目城は財田町の本築城とともに阿波方面に備える重要な城であった。落城については諸説あるが、長宗我部元親の讃岐進出の第一歩であり、この城を攻略することにより以後の戦略が容易になったようである。(参考文献「香川県中世城館跡詳細分布調査報告」香川県教育委員会、平成15年3月)

現在、標高約129mの削平地に藤目不動院の建物があるが、今回の山道新設事業は標高100m付近から不動院までの比高差約30mの間の管理道を建設するものであった。

(3) 調査概要

調査は6箇所でトレンチを設定し調査を行った。下表にその結果を整理した。

調査地点	主な時代	主な遺構	出土遺物等
トレンチ1 1.0m×2.3m		なし	土師質土器片4点
トレンチ2 1.0m×3.0m		なし	土師質土器片3点
トレンチ3 1.7m×4.0m		なし	土師質土器片1点
トレンチ4 1.5m×2.3m		なし	なし

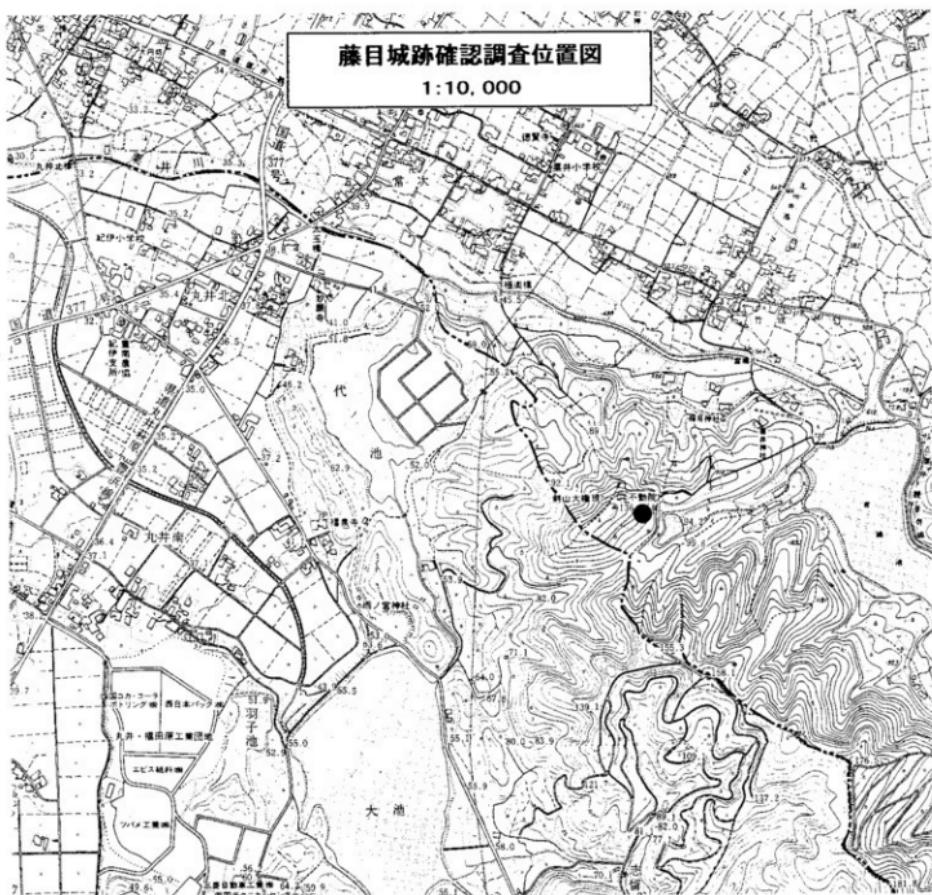
トレンチ5 1.0m×3.0m		なし	土師質土器片 5点
トレンチ6 1.0m×3.0m		なし	なし

調査の結果、各トレンチからは遺構は確認されなかったが、土師質土器片がトレンチ1、2、3、5から出土したが少量であった。

今回の山道新設事業では特に目立った遺構は確認されなかったが、今後についても遺跡の重要性に鑑みその保存については十分な注意をもって望むべきものと思われる。

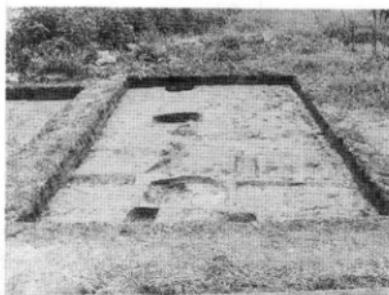
藤目城跡確認調査位置図

1:10,000



III. 記録写真

(1) 青塚遺跡試掘調査記録写真



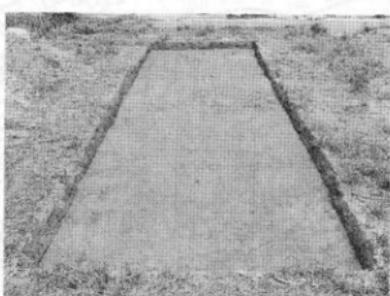
1. トレンチ 1



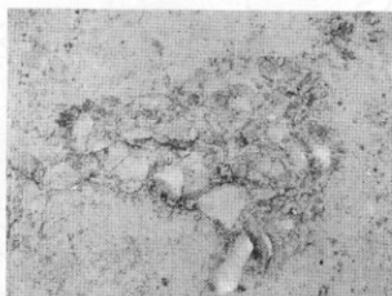
2. トレンチ 2



3. トレンチ 3



4. トレンチ 4



5. 弥生土器出土状況



6. 弥生土器出土状況

(2) 藤目城跡確認調査記録写真



1. トレンチ 1



2. トレンチ 2



3. トレンチ 3



4. トレンチ 4



5. トレンチ 5



6. トレンチ 6

IV. 報告書抄録

ふりがな	かんおんじしまいそうぶんかさいちょうさじょうほうこうくしょ						
書名	観音寺市埋蔵文化財調査事業報告書						
副書名	青塚遺跡試掘調査報告書 藤目城跡確認調査報告書						
卷次							
シリーズ名							
シリーズ番号							
編著者名	観音寺市教育委員会事務局 生涯学習課 文化振興係 主査 久保田昇三						
収集機関	観音寺市教育委員会						
所在地	〒768-8601 香川県観音寺市坂本町一丁目1番1号 TEL 0875-23-3943						
発行年月日	西暦 2007年 3月30日						
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村	北緯 遺跡番号	東經	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
青塚遺跡	観音寺市 原町 字青塚 3番	37205		34度 7分 2秒 (WGS84系)	133度 42分 27秒 (WGS84系)	20060605 20060731	45.18 地域用水 環境整備事業
藤目城跡	観音寺市 粟井町 字射場 1666番2 ほか	37205		34度 5分 23秒 (WGS84系)	133度 42分 8秒 (WGS84系)	20060925 20061019	21.55 山道新設事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
青塚遺跡	不明	弥生	土坑1基	弥生土器片	長径51cm、短径42cm、深さ11.5cmの不整円形ピットを一ヵ所確認。ピット内には弥生土器片が複数個体分埋められていた。		
藤目城跡	城館跡	室町 安土桃山	曲輪、堀、土塁	土師質土器片	今回の調査では、遺構は検出されなかった。		

観音寺市埋蔵文化財調査事業報告書
青塚遺跡試掘調査報告書
藤目城跡確認調査報告書

2007（平成19）年3月30日発行

編集・発行 観音寺市教育委員会
〒768-8601
香川県観音寺市坂本町一丁目1番1号
電話（0875）23-3943
FAX（0875）23-3965
印 刷 (株)中山印刷所